

大阪府議会会派アンケート回答

※自民党、公明党、改革保守、創生保守は期日までの回答なし

	大阪維新の会	共産党	民主ネット
消費税10％への引き上げ	反対 国民へ負担を求める消費税10％への増税は、身を切る改革と十分な歳出削減を前提とするべきであり、それまで凍結する。	反対 志位議員の国会質問で、2014年の消費税8％への増税で、実質家計消費も実質賃金も大きく落ち込み回復していないことを安倍首相も認めました。こんな状況でさらに10%にしたらますます消費は冷え込み、暮らしも経済も壊れます。	反対
後期高齢者の窓口負担原則2割化	反対 75歳以上の高齢者増加の中、負担のあり方は議論が必要だが、窓口負担割合の引き上げより医療費削減を優先すべき。	反対 75歳以上で所得ゼロの人は全体の53.2%を占めます。高齢になると「受診率」も増えます。医療費負担を2倍に引き上げれば、暮らしに大打撃となり、お金がなくて医者にかかれない受診抑制で健康破壊を引き起こす危険があります。	その他
憲法9条の改定	賛成 国際情勢の変化に対応し、国民の生命・財産を守るため。	反対 安倍政権の9条改憲のねらいは日本が再び「海外で戦争する国」にするためです。戦後70年以上日本が海外で戦争してこなかった大きな力は憲法9条の存在と平和を願う国民の世論と運動です。	反対
脱原発	賛成 既存原発はフェードアウトすべきであり、再稼働には世界標準の安全規制などが内容の「原発再稼働責任法」の制定をすべき。	賛成 福島原発事故で「原発安全神話」は完全に崩壊し再稼働反対が国民多数です。安倍首相の原発ビジネスも総崩れ。再稼働中止、即時原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換へ政治決断を行うことこそが、もっとも現実的で責任ある道です。	賛成
大阪都構想	賛成 二重行政を改め、住民に身近な行政と広域行政の役割分担を明確にする。	反対 大阪都構想は、大阪市をつぶして財源と権限を「1人の指揮官に集中」するものです。その行く先が、カジノを中核とした「夢洲開発」などムダな大型開発です。特別区設置に最大637億円、議会費や人件費など毎年50～60億円のコスト増です。	反対
カジノ誘致	賛成 訪日外国人旅行者数を増加させ、大阪の活性化につなげると同時に国際会議場などの施設を充実させるため。	反対 夢洲IRは4800億円の内、カジノで3800億円の売り上げを見込んでいます。カジノの利用者の75%を日本人と想定。ギャンブル依存症がさらに広がります。人の不幸で儲け、米カジノ大手資本に大阪と日本を売り渡し、ムダな開発の呼び水とするものです。	反対
一部損壊世帯への住宅改修費用補助制度の創設	賛成 財源が許せば検討する。	賛成 住宅被害に対し、被災者生活再建支援法による全・大規模半壊等への支援金支給額の引き上げや支給対象をすべての半壊と一部損壊に拡大するよう国に求めるとともに、府として半壊・一部損壊への補助制度を設けるよう要望しています。	その他
国保料の府内統一化	賛成 同じ所得、同じ世帯構成であれば、府内どこに住んでも同じ保険料となり、被保険者間の負担の公平性が確保できるため。	反対 大阪府の国保統一化は府県を医療費抑制の“推進者”にしようという国の方針の先取りです。国保への市町村の独自補助をなくし保険料率を府内一本化し、市町村独自減免を無くせば、加入者の負担は激増します。1兆円の公費投入で、国保を民間サラリーマンの協会健保と同水準に引き下げるよう求めます。大阪府にも「一本化」の押し付けをやめ、国保への府の独自補助を大幅に拡充するよう求めています。	その他
福祉医療費助成制度の拡充	賛成 財源が許せば検討する。	賛成 重度障がい者医療費助成制度の患者負担は、昨年4月の引き上げ以前の水準に戻します。65歳以上の、精神1級以外の精神通院医療対象者・重度以外の難病患者・結核患者への助成を継続。精神障害者2級の通院へ補助対象を拡大するよう求めます。精神1級の入院への拡大を求めます。	賛成
子ども医療費助成の窓口負担の無料化	賛成 子どもの健全な育成に寄与し、もって児童福祉の向上を図るためには一部負担金を含め無料化が望ましいため。	賛成 乳幼児医療無料化を真っ先に提案し、皆さんと共同して拡充してきました。府の助成策は大きく遅れており、市町村の足をひっぱっています。府として子ども医療費の通院助成を小学校卒業までに拡大し、就学前の窓口負担は無料にすることを求めています。	その他
歯科口腔保健条例の制定	その他 基本的には賛成であるが、具体的内容による。	賛成 貴協会の調査では、子どもの口腔崩壊の実態が明らかにされました。その背景に生活苦や家庭的困難が未受診につながっていることがうかがえます。学校歯科健診後の受診調査と歯科健診時のフッ素塗布などの施策を進めることが必要です。	賛成